

おおのじょうシティミュージアム年報

(大野城心のふるさと館)

2025

—令和7年度—



おおのじょうシティミュージアム
—— **大野城心のふるさと館**
Onojo Cocoro-no-furusato-kan City Museum

おおのじょうシティミュージアム年報

(大野城心のふるさと館)

2025

—令和7年度—

目次

1 おおのじょうシティミュージアム年報

(大野城心のふるさと館)

1-1 施設	1
1-2 組織・職員	3

2 展示

2-1 常設展示	4
2-2 ミニテーマ展示	5
2-3 パネル展	6
2-4 大野城コレクション	6
2-5 特別展・企画展	7

3 教育普及

3-1 学校連携事業	13
3-2 体験型事業	14
3-3 団体利用	16
3-4 まち歩き事業・文化財公開事業	16
3-5 講座・講演会	17
3-6 ふるさとラボ	19
3-7 研修生等受入	20

4 催し・施設貸出など

4-1 にぎわいづくり事業	20
4-2 つながる事業	23
4-3 活用事業	26
4-4 施設貸出	28
4-5 ここふるショップ	28
4-6 オリジナルグッズ	30

5 他機関との連携・交流

5-1 大韓民国国立公州大学校歴史博物館学術文化交流協定	30
5-2 視察等受入	31
5-3 九州大学連携協力推進事業	31

6 市民・地域との連携

- 6-1 ふるサポの会 32
- 6-2 ここふる友の会 33
- 6-3 山城楽講 33
- 6-4 史跡環境整備サポーター事業 35

7 情報発信・広報

- 7-1 情報発信・広報ツールの活用 36
- 7-2 発行物 36

8 資料収集・調査・貸出

- 8-1 資料の収集 38
- 8-2 資料の調査 39
- 8-3 資料の貸出 41

9 文化財調査・整備

- 9-1 文化財の調査 43
- 9-2 文化財の指定 44
- 9-3 文化財の整備 44

10 施設管理

- 10-1 I P M管理 45
- 10-2 危機管理 46

11 統計

- 11-1 施設利用状況 47
- 11-2 来館者アンケート 48

(11) フロー図

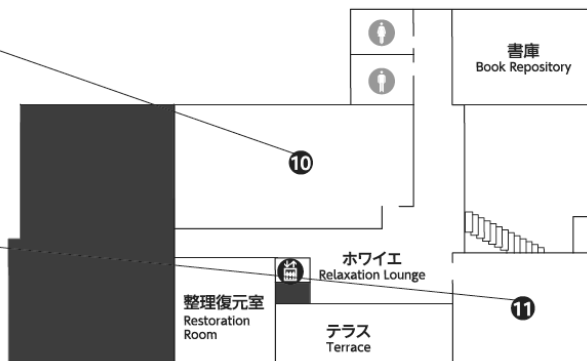
3F 10 企画展示室
Special Exhibition Room

当館や他館の資料を展示する特別展を行います。



3F 11 ふるさとラボ
Local History Room

自加田ライブラリーや郷土資料の閲覧など、より詳しい情報を調べることができます。

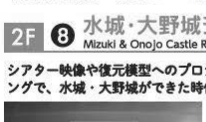


3F — 調 Shirabe-Ba



2F 7 牛須須恵器ファクトリー
Ushikubi Sue Ware Hands-on Exhibition

須恵器を焼く窯や工房を再現。牛須須恵器窯跡の概要がわかる展示です。



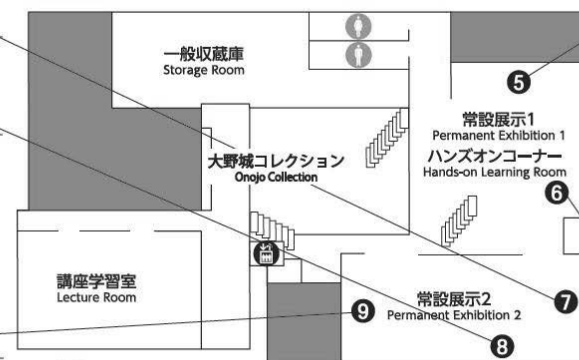
2F 8 水城・大野城シアター
Mizuki & Onojo Castle Ruins Theater

シアター映像や復元模型へのプロジェクションマッピングで、水城・大野城ができた時代に迫ります。



2F 9 ミニテーマ展示
Mini Exhibition

郷土資料や特別展などの内容に合わせた展示を行います。



2F — 学 Manabi-Ba

2F 5 大野城タイムライン
Onojo Timeline

旧石器時代から現代まで、大野城市の歴史がわかる展示です。



2F 6 百間石垣ウォール・クライミング
Hyakken Stone Wall Ruins, Climbing Wall

大野城跡の百間石垣の一部を再現。隣には高さ7mのクライミングコーナーがあります。(ご利用には初回登録と当日予約が必要です。)



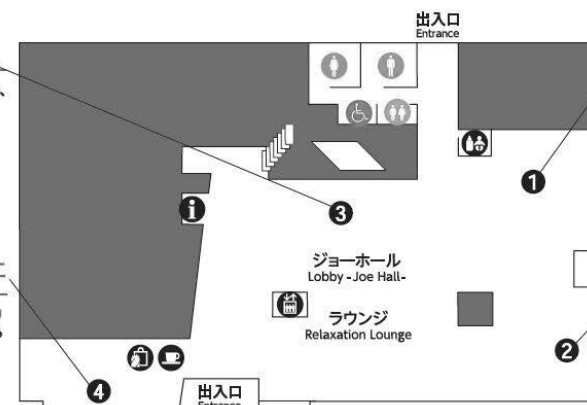
1F 3 大野城ダイナビジョン
Onojo Dynavision

大野城市の歴史や最新の観光情報をお知らせするほか、たのしいミニゲームもあります。



1F 4 ここふるショップ&カフェ
Museum Shop and Café

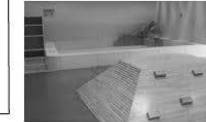
オリジナルグッズや地域の特産品、推奨品などを取り扱っています。カフェでは市内の団体や飲食店による日替わりランチを提供しています。



1F — 遊 Asobi-Ba

1F 1 こども体験ギャラリー
Kids History Experience Room

ボールプールやすべり台で未就学児が遊べるコーナーやおりがみ・昔遊びなどでみんなが遊べるコーナーがあります。(土日はワークショップも開催しています。)



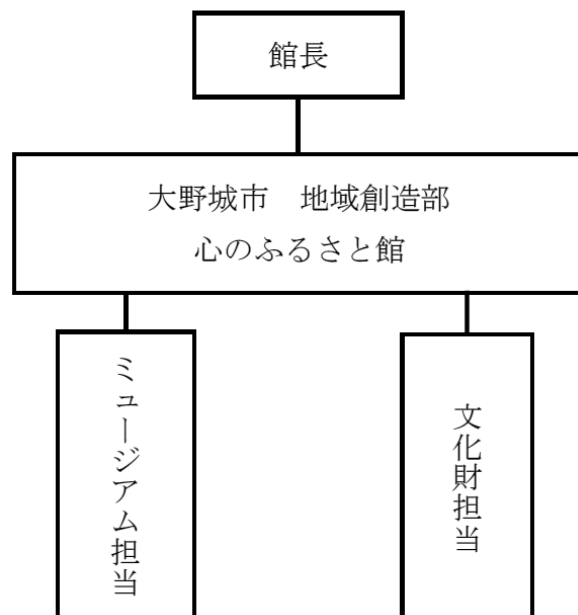
1F 2 昭和のくらしコーナー
Lifestyle Exhibition of the Showa Era

市内の農家をモデルに、昭和20～40年代のなつかしの暮らしを再現。定期的に展示替えイベントも行っています。



1-2 組織・職員

(1) 運営体制（組織図）



(2) 令和7年度の職員（令和8年3月31日時点）

館 長	赤 司 善彦		
【ミュージアム担当】		【文化財担当】	
課 長	佐藤 智郁	課 長	石木 秀啓
参事補佐兼係長	上田 龍児	参事補佐兼係長	林 潤也※
参事補佐兼係長	木室 友希※	参事補佐兼係長	濱崎 義一
主任主事	花房 伸哉	主任主事	下川 みお
主任主事	陶山 慎太郎	主任技師	龍 友紀※
主任技師	齋藤 明日香※	主任技師	山元 瞭平※
技 師	溝口 勇太※	会計年度任用職員	澤田 康夫
主 事	岩本 乃映	会計年度任用職員	石川 健
主 事	関 優真	会計年度任用職員	山村 智子※
会計年度任用職員	武下 龍也	会計年度任用職員	深町 美佳※
会計年度任用職員	高橋 俊介	会計年度任用職員	吉岡 琴美※
会計年度任用職員	原口 香那	会計年度任用職員	藤田 香
会計年度任用職員	今村 杏奈※	会計年度任用職員	慶田 芳一
会計年度任用職員	舟山 良一※		
会計年度任用職員	白井 夕美子※		
会計年度任用職員	門井 慶介※		
会計年度任用職員	田口 芙季※		
会計年度任用職員	塩見 充子※		
会計年度任用職員	原 大樹※		
会計年度任用職員	福富 美保		
会計年度任用職員	松永 千夏		

※学芸員

2 展示

2-1 常設展示

大野城タイムライン

旧石器時代から近現代までの市内の遺跡から出土した遺物や市民からの寄贈品を通史的にコンパクトに展示しており、タッチパネルにより各時代の詳細な解説をみることができる。令和7年度は7月と8月と12月に展示替えを実施した。

《展示資料》貨布(複製品)、新羅土器、へら書き須恵器、善一田古墳群出土玉類 など

水城・大野城シアター

国の特別史跡である水城跡・大野城跡を模型や映像、プロジェクションマッピングを使ってわかりやすく紹介している。ペンライト型の照明で模型を照らすと水城跡・大野城跡の古代から中世、現代の発掘調査までの歴史のシーンを見ることができる。

なお、令和7年度春季は企画展「今だからこそ知ってほしい『西の都』の時代の大野城市」会場として使用した。また、夏季・秋季には特別展の特設会場として使用したため、水城跡・大野城跡の模型は大野城タイムライン側に移動させて展示を行い、令和8年1月にシアターに戻して展示。

《展示資料》水城・大野城全景模型、水城西門・太宰府口城門・増長天礎石群・百間石垣再現模型

善一田古墳群と乙金地区遺跡群

市北東部の乙金地区の土地区画整理事業に伴い発見された善一田古墳群を中心とした乙金地区遺跡群から出土した資料を「モノづくり」と「交流」をキーワードに展示し、不定期に展示替えを行っている。

なお、令和7年度春季は、企画展「今だからこそ知ってほしい『西の都』の時代の大野城市」会場として使用した。また、夏季・秋季には特別展の特設会場として使用した。

《展示資料》鉄刀、新羅土器 など

牛頸須恵器ファクトリー

国史跡である牛頸須恵器窯跡の窯や工房を再現し、生産された須恵器などの資料を展示している。

令和7年度春季には、企画展「今だからこそ知ってほしい『西の都』の時代の大野城市」会場として使用した。また、夏季・秋季には特別展の特設会場として使用した。

《展示資料》牛頸須恵器窯跡出土須恵器、へら書き須恵器（福岡県指定文化財）

収蔵展示

一般収蔵庫の壁面を利用して土器や石器、民具などを展示。設置されたLEDによりカラフルな照明演出をすることができる。令和7年度は「須恵器」「食」をテーマに展示を行った。

昭和のくらしコーナー

大野城市内の民家をモデルに昭和のくらしを復元。壁の変更、土間から板間への変更、小物の入れ替えなどにより、昭和 20 年代、30 年代、40 年代の 3 時代に展示替えが可能で、定期的に展示替えを行っている。来館者は家屋に入り、展示品に触れて学ぶことができる。

年 代	期 間
昭和 20 年代	令和 7 年 4 月 1 日（火）～8 月 3 日（日）
昭和 40 年代	令和 7 年 8 月 4 日（月）～12 月 7 日（日）
昭和 20 年代	令和 7 年 12 月 8 日（月）～令和 8 年 3 月 31 日（火）

2-2 ミニテーマ展示

地域の歴史や身近な文化財への関心を深めること、郷土への愛着形成などを目的に、市に関連する展示や特別展の内容に合わせた展示などを行っている。

目加田コレクション「東海道五十三次」

会 期	令和 7 年 4 月 9 日（水）～6 月 12 日（木）
会 場	大野城心のふるさと館 2 階 ミニテーマ展示
内 容	2025 年 NHK 大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢囃～」は江戸時代に発展した印刷文化がテーマの一つである。江戸時代の印刷物としてよく知られているのが、浮世絵である。本市が所蔵し、ふるさとラボでも公開している目加田文庫には、浮世絵の複製がある。その中から、「東海道五十三次」の複製品を紹介した展示を行った。より多くの作品を紹介するため、会期中に 1 度展示替えを行った。
展示資料	歌川広重「東海道五十三次」（複製）「日本橋」から「掛川宿」まで計 26 点、「改過説」版木（竹田家文書）、パネル等

戦争の記憶展 -昭和 20 年筑紫郡大野村村長の日記-

会 期	令和 8 年 1 月 10 日（土）～3 月 8 日（日）
会 場	大野城心のふるさと館 2 階 ミニテーマ展示・M2 階 大野城コレクション
内 容	令和 7 年 10 月、昭和 5 年（1930）から 21 年（1946）まで大野村長を勤めていた山上高太郎の日記（以後、山上高太郎日記と記す）が大野城市に寄贈された。山上高太郎日記は大野村行政の最前線に立たされていた長としての目線で書かれ、戦争へ向っていく社会情勢、召集や戦死者一人ひとりの氏名、軍需工場や本土決戦の準備などを事細かく記されていることから、昭和 20 年の山上高太郎日記に注目し、ミニテーマ展示で軍需工場の地下疎開化や本土決戦準備、村民の避難計画の策定等、戦時下の大野村について、大野城コレクションでは終戦直後、戦後処理や進駐軍対応に追われた大野村について紹介した展示を行った。
展示資料	考古資料及び戦争関連資料 39 点、パネル等

関連イベント

ギャラリートーク

日 時 令和 8 年 2 月 25 日（水）14 時～15 時 30 分

会 場 大野城心のふるさと館 2 階 ミニテーマ展示・M2 階 大野城コレクション

参加者数 24 名

「戦後 80 年、戦争遺跡をめぐるバス見学会」

日 時 令和 8 年 3 月 7 日（土）12 時～17 時

会 場 筑前町立大刀洗平和記念館、戦跡フィールドワーク（第五航空教育隊正門、憲兵分遣隊舎の煉瓦塀、時計台跡、監的壕、掩体壕、太刀洗航空機製作所）、上大利陣地跡

参加者数 19 名 ※応募者 55 名

2-3 パネル展

令和 7 年度筑紫地区文化財写真展 色のパレット～筑紫の歴史（とき）を彩る文化財～

会 期 令和 7 年 11 月 1 日（土）～11 月 16 日（日）

内 容 各市の若手職員が自信をもって選んだ、色とりどりの文化財の写真を紹介した。

2-4 大野城コレクション

可動式棚を利用して、作品や収集品等の展示を行っている。貸館として、一般利用者の利用も可能。利用実績は以下のとおり。

タイトル	会期	内容・展示資料	主催
おしゃべりワークショップ 私が知っている大野城のはなし作品展	令和 7 年 4 月 15 日（火）～ 4 月 30 日（日）	ワークショップで作成したラジオドラマ作品やシナリオの展示	大野城市
平野睦子 個展	令和 7 年 5 月 13 日（火）～ 5 月 18 日（日）	個人の作品展示	平野睦子
まどかの宝さがし	令和 7 年 5 月 20 日（火）～ 6 月 15 日（日）、 9 月 5 日（金）～ 9 月 28 日（日）	市特産品・推奨品の P R 展示	大野城市
オリジナルグッズ P R 展示「ミュージアムグッズ大集合！」	令和 7 年 6 月 17 日（火）～ 7 月 6 日（日）、 12 月 3 日（水）～ 12 月 27 日（土）	大野城心のふるさと館のオリジナルグッズ・P R グッズの P R 展示	大野城市

タイトル	会期	内容・展示資料	主催
オリジナルグッズPR 展示「ミュージアムグ ッズ大集合！」	令和7年 6月17日（火）～ 7月6日（日）、 12月3日（水）～ 12月27日（土）	大野城心のふるさと館のオリ ジナルグッズ・PRグッズのP R展示	大野城市
ここふる どうぶつえ ん～日本のおもちゃ大 集合～	令和7年 7月12日（土）～ 8月31日（日）	日本各地で昔から親しまれて きた、動物をモチーフとした郷 土玩具の紹介や、市内出土の動 物型資料を紹介。	大野城市
牛頸用水路展 ～米の 収穫量がふえた！～	令和7年 10月4日（土）～ 11月30日（日）	明治10年に牛頸村から早魃に 苦しむ白木原村と上大利村、春 日村への牛頸用水路を整備し た森山庄太さんの偉業を紹介。	大野城市
戦争の記憶展 -昭和 20年筑紫郡大野村村長 の日記-	令和8年 1月10日（土）～ 3月8日（日）	アジア太平洋戦争時に大野村 村長の山上高太郎氏の日記か ら終戦直後の大野村の出来事 を紹介。	大野城市
岩手県復興ポスター展	令和8年 3月10日（火）～ 3月31日（火）	東日本大震災からの復興の歩 みを進める岩手の姿と岩手の 魅力を紹介。	大野城市

2-5 特別展・企画展

令和7年度開催の特別展・企画展

特別展・企画展名	会期
令和7年度春季特別展 「映画『もののけ姫』から学ぶ考古学—大野城市にもあったもう一 つのストーリー—」	令和7年 4月26日（土） ～6月15日（日）
令和7年度夏季特別展 「光と遊ぶ！超体感型ミュージアム 魔法の美術館」	令和7年 7月15日（火） ～9月7日（日）
令和7年度秋季特別展 「神技の複製アート展—さわれる名画—」	令和7年 10月21日（火） ～12月14日（日）
地域文化財展 「記録された日常—市内に伝わる江戸時代の記憶—」	令和8年 1月17日（土） ～3月15日（日）

令和7年度春季特別展「映画『もののけ姫』から学ぶ考古学—大野城市にもあったもう一つのストーリー—」

会 期	令和7年4月26日(土)～6月15日(日) (44日間)
会 場	大野城心のふるさと館 3階 企画展示室、2階 特設会場
主 催	大野城市、大野城心のふるさと館
内 容	映画『もののけ姫』のストーリーに導かれながら、物語の中に登場する器物を実際の考古資料で展示し、考古学の面白さや大野城市の歴史について親しみやすく市民に伝える機会とする。 また、もののけ姫の舞台である「タタラ場」を本市の国指定史跡・牛頸須恵器窯跡に見立て、自然と文明、環境と人間との関わりを改めて見つめ直すきっかけを提供する。
展 示 品	蕨手刀、大珠、扶状耳飾り、隼人の盾(復元品)、漆塗土器、骨角製腰飾、移動式カマド、木製曲物、木製杵、木製下駄、フランキ砲(復元品)、土偶、石鏃・黒色土器 ほか
観 覧 料	一般500円(450円)、高・大学生100円(50円)、中学生以下無料 ※()内は20名以上の団体又はここふる友の会会員料金
観覧者数	3,899人
図 録	29.7cm×21cm／本文72ページ／900円／編集・発行：大野城心のふるさと館



関連イベント

内覧会

日 時	令和7年4月25日(金) 10時～12時
会 場	大野城心のふるさと館 1階 ジョーホール
参加者数	83名

特別展関連講演会「考古学で読み解く『もののけ姫』(全3回)」

日 時	第1回 令和7年5月10日(土) 11時～12時 「東と北の間より—九州北部における蝦夷・俘囚の痕跡を探る—」
	第2回 令和7年5月31日(土) 11時～12時 「押しと一る!—大野城市の中世の村と暮らし—」
	第3回 令和7年6月14日(土) 11時～12時 「森とタタラ場、双方生きる道はないのか?—牛頸須恵器窯跡の須恵器生産から、人間と森との関係について考える—」
会 場	大野城心のふるさと館 M2階 講座学習室
参加者数	第1回 92名 第2回 66名 第3回 92名

ギャラリートーク

日	時	令和7年4月26日(土)	11時～、14時～
		令和7年4月27日(日)	11時～、14時～
		令和7年5月1日(木)	11時～、14時～
		令和7年5月2日(金)	11時～、14時～
		令和7年5月4日(祝・日)	11時～、14時～
		令和7年5月6日(振休・火)	11時～、14時～
		令和7年5月10日(土)	13時～
		令和7年5月17日(土)	11時～、14時～
		令和7年5月24日(土)	11時～、14時～
		令和7年5月31日(土)	13時～
		令和7年6月14日(土)	13時～

会 場 大野城心のふるさと館 3階 企画展示室

ワークショップ「子どものための『もののけ姫』から学ぶ考古学」

日 時	令和7年5月5日（祝・月）	10時～12時、13時30分～15時30分
内 容	ワークショップ（勾玉づくりと土面ペーパークラフトづくり）及び展示に関する講座（ギャラリートーク付）	
会 場	大野城心のふるさと館 3階 企画展示室（ギャラリートーク）、 M2階 講座学習室（ワークショップ）	
参加者数	36名（付添い29名）	

クイズラリー

期	間	令和7年4月26日(土)～6月15日(日)
内	容	特別展に関するクイズラリーを実施。
会	場	大野城心のふるさと館 3階 企画展示室
参加者数	3,816名	

令和7年度夏季特別展「光と遊ぶ！超体感型ミュージアム 魔法の美術館」

会	期	令和7年7月15日(火)～9月7日(日)(48日間)
会	場	大野城心のふるさと館 3階 企画展示室、2階 特設会場、 1階 特設会場
主	催	大野城市、大野城心のふるさと館
共	催	西日本新聞社
企画協力	ステップ・イースト	



内 容	夏休みの期間に合わせて、国内外で活躍するアーティストたちが作り出す光とアートの作品を展示。動きに合わせて変化する光や色で多彩な表情を見せるアート作品など、世代を超えて楽しめる「見て、触って、参加する」光とアートが織り成す体感型の展覧会を行った。
展 示 品	《なげる、あてる、ひろがる》スイッチ、《かなでるさがし》本多大和 (pook)、《つくもがみ》坪倉輝明ほか全 12 作品
観 覧 料	一般 1,000 円 (900 円)、中高校生 500 円 (400 円)、4 歳～小学生 300 円 (200 円)、3 歳以下無料 ※ () 内は 20 名以上の団体又はここふる友の会会員料金
観覧者数	27,916 名

関連イベント

内覧会

日 時	令和 7 年 7 月 14 日 (月) 14 時～16 時
会 場	大野城心のふるさと館 M2 階 講座学習室
参加者数	129 名

来場者 1 万人イベント

日 時	令和 7 年 8 月 7 日 (木) 11 時～
会 場	大野城心のふるさと館 3 階 ホワイエ

来場者 2 万人イベント

日 時	令和 7 年 8 月 28 日 (木) 13 時 30 分～
会 場	大野城心のふるさと館 3 階 ホワイエ

令和 7 年度秋季特別展「神技の複製アート展—さわれる名画—」

会 期	令和 7 年 10 月 21 日 (火) ～12 月 14 日 (日) (49 日間)
会 場	大野城心のふるさと館 3 階 企画展示室、2 階 特設会場
主 催	大野城市、大野城心のふるさと館、大野城市教育委員会
特別協力	大塚オーミ陶業株式会社、大塚国際美術館、日本経済大学
内 容	大塚国際美術館は、西洋名画を陶板で原寸大に再現した複製品を展示する美術館（徳島県鳴門市）である。大塚国際美術館の展示品を制作する大塚オーミ陶業株式会社は、文化遺産を守り伝える独自の技術として、西洋名画のみならず陶板による国宝級の文化財の複製品なども制作している。 今回の特別展では、陶板で制作した世界的に著名な名画や文化財などの複製品を展示し、実物は触れることのできない名画・名品を触れて楽しむことにより、芸術や文化財に親しんでもらうとともに、文化財保護の重要性を知ってもらう。

展 示 品	名画や文化財（モネ・クロード「日傘の女」、ゴッホ・フィンセント・ファン「ヒマワ
-------	---



リ」、ボッティチェリ・サンドロ「ヴィーナスの誕生」、俵屋宗達「風神雷神神図屏風」、
「高松塚古墳壁画」など）の陶板複製品

観覧料 一般 800 円（600 円）、中高生 500 円（400 円）、小学生 300 円（200 円）、未就学児無料

※（）内は 20 名以上の団体又はここふる友の会会員料金

観覧者数 7,209 人

図録 29.7 cm×21 cm／本文 78 ページ／800 円／編集・発行：大野城心のふるさと館

関連イベント

内覧会

日 時 令和 7 年 10 月 20 日（月） 10 時～12 時

会 場 大野城心のふるさと館 1 階 ジョーホール

参加者数 147 名

視覚障がい者向けギャラリートーク

日 時 令和 7 年 10 月 27 日（月） 13 時 30 分～15 時 30 分

会 場 大野城心のふるさと館 3 階 企画展示室

内 容 視覚障がいを持っている方を対象に、ギャラリートークを実施した。

参加者数 5 名

特別展関連トークショー「文化財の複製技術」

日 時 令和 7 年 11 月 12 日（水） 14 時～16 時

会 場 日本経済大学 福岡キャンパス KOROKAN 4 階 大講義室

内 容 複製陶板を利用した文化財活用についてのトークショー。

講演内容 「文化財と複製陶板」

（大塚オーミ陶業株式会社代表取締役社長 大杉栄嗣氏）

「高松塚古墳の保存と復元について」

（独立行政法人国立文化財機構九州国立博物館元館長 三輪嘉六氏）

参加者数 141 名

ワークショップ「模写してみよう」

日 時 令和 7 年 12 月 1 日（月） 13 時～16 時

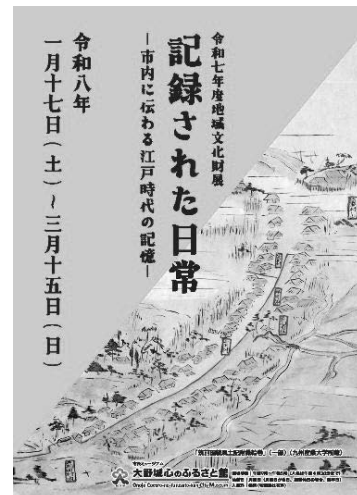
会 場 大野城心のふるさと館 3 階 企画展示室

内 容 原寸大で再現している陶板名画を模写するワークショップ。

参加者数 20 名

令和7年度地域文化財展「記録された日常―市内に伝わる江戸時代の記憶―」

会 期	令和8年1月17日(日)～3月15日(日) (50日間)
会 場	大野城心のふるさと館 3階 企画展示室
主 催	大野城市、大野城心のふるさと館
内 容	福岡県指定有形文化財「竹田家所蔵文書」や大野城市指定有形文化財「高原家文書」「染原家文書」などの古文書を通じて、江戸時代の大野城市域のことを紹介した。
展 示 品	「足利義輝御内書」(竹田家文書)、福岡県指定有形文化財「竹田家所蔵文書」より『筑前国続風土記』・『黒田家譜』・「貝原益軒書状」、大野城市指定有形文化財「高原家文書」より『乙金村人払帳』・『御笠郡乙金村軸帳』、大野城市指定有形文化財「染原家文書」より『染原卯助嫡同卯平中年迄連年日記』ほか19件
観 覧 料	無料
観覧者数	3,374人



関連イベント

地域文化財展関連講演会「古文書調査の現場から」

日 時	令和8年2月8日(日) 14時～16時
会 場	大野城まどかぴあ 多目的ホール
内 容	古文書調査の実際と筑紫地区の庄屋文書についての講演会。
講演内容	講演1 「古文書調査での発見と驚き」 吉田洋一氏(久留米大学教授) 講演2 「筑紫地区の庄屋文書について」 山村淳彦氏(元筑紫野市文化財課)
参加者数	75名

ギャラリートーク

日 時	令和8年2月21日(土) 13時30分～14時
会 場	大野城心のふるさと館 3階 企画展示室
参加者数	12名

3 教育普及

3-1 学校連携事業

ふるさとの歴史をはじめとする地域資源、環境に興味・関心を深め、主体的な活動を促すという学習指導要領のねらいを踏まえ、総合学習や社会科を中心に、館の展示・収蔵品などの資源、体験型事業を活かした学習プランや学習教材を提供し、市内外の小中学校の教育活動をサポートしている。

令和7年度実績 市内小学校 10 校、市内中学校 5 校、市外小学校 3 校

	学校名	単元	学年
1	大野小学校	私たちの大野城市【社会科】／昔の道具【社会科】	3
2		大野城市の発展につくした人【社会科】	4
3		大昔のくらしと国の統一【社会科】	6
4		山城のすばらしさをPRしよう【総合】	6
5	大野北小学校	私たちの大野城市【社会科】	3
6		昔の道具【社会科】	3
7		大野城市の発展につくした人【社会科】	4
8		山城のすばらしさをPRしよう【総合】	5
9	大野南小学校	昔の道具【社会科】	3
10		大野城市の発展につくした人【社会科】	4
11	大野東小学校	昔の道具【社会科】	3
12		大野城市の発展につくした人【社会科】	4
13		山城のすばらしさをPRしよう【総合】	6
14	大利小学校	昔の道具【社会科】	3
15		山城のすばらしさをPRしよう【総合】	6
16	平野小学校	昔の道具【社会科】	3
17		大野城市の発展につくした人【社会科】	4
18		大昔の暮らしと国の統一【社会科】	6
19	大城小学校	大野城市の発展につくした人【社会科】	4
20		山城のすばらしさをPRしよう【総合】	6
21	下大利小学校	私たちの大野城市【社会科】	3
22		大野城市の発展につくした人【社会科】	4
23	御笠の森小学校	昔の道具【社会科】	3
24		大野城市の発展につくした人【社会科】	4
25	月の浦小学校	昔の道具【社会科】	3
26		山城のすばらしさをPRしよう【総合】	6
27	岡垣町内浦小学校	昔の道具【社会科】	3
28	中間市底井野小学校	昔の道具【社会科】	3

	学校名	単元	学年
29	春日原小学校	昔の道具【社会科】	3
30	大野中学校	地域の歴史を探る	3
31	大野東中学校	地域の歴史を探る	2
32	大和中学校	昔の道具	特別支援学級
33	御陵中学校	地域の歴史を探る	1
34	平野中学校	地域の歴史を探る	1

※一部複数回実施の単元あり。

3-2 体験型事業

ここふるAR

館内でのタブレット端末の貸出により、AR システムによる解説の常時実施や館内周遊イベントなどを実施している。

※ タブレット端末の貸出は1回2時間以内。



令和7年度貸出実績	のべ1,147台（使用人数：のべ2,610名）
-----------	-------------------------

《1階ダイナビジョン前》

百間石垣ウォール・クライミング

大野城跡の百間石垣の一部を壁面に再現し、約7メートルの石垣の高さを体感できるウォール・クライミングを設置し、土日祝日には小学生以上を対象としたクライミング体験を実施している。

- ・令和7年度クライミング開催回数 119回
- ・参加者総数：3,324名
- ・令和7年度新規登録者数 806名

運用区分	開催回数	参加人数
通常運用	105	3,131
未就学児運用（8月で廃止）	5	36
春休みクライミング特別運用	2	29
夏休みクライミング特別運用	6	121
冬休みクライミング特別運用	1	7
合計	119	3,324



※通常運用：小学生以上、未就学児運用：次年度小学校入学予定の未就学児

※団体利用人数は除く

子ども考古学教室

夏休み期間中に、小学4年生～中学2年生を対象とした考古学や文化財への理解と関心を深めるための体験型学習「子ども考古学教室」を実施している。

開催日	内容	参加者数
令和7年 8月6日(水) 8月7日(木)	・考古学のお仕事 ①学習 ②分類 ③編年 ・考古学のお仕事体験 ④接合 ⑤観察とスケッチ ⑥拓本	11名 内訳：小学校4年生3名 小学校5年生8名

ここふるワークショップ

未就学児から高齢者まで様々な年齢層が自由に参加して楽しめる参加費無料のワークショップを実施。その時季の行事などを題材として、主に折り紙など身近な材料を使った工作を行っている。

- ・開催日時：毎月第1～3週の土日 10時～16時（受付は15時30分まで、材料がなくなり次第終了）
- ・対 象：全年齢、小学3年生以下は保護者の同伴が必要
- ・開催日総数：70日間 ・参加者総数：4,836名
- ・実施場所：大野城心のふるさと館 1階 こども体験ギャラリー

月	内容	参加者数	月	内容	参加者数
4月	こいのぼりを作ろう！	330名	10月	ハロウィンのお面を作ろう！	510名
5月	むかしのお面を作ろう！	323名	11月	はがきの凧を作ろう！	359名
6月	七夕かざりを作ろう！	526名	12月	クリスマスカードを作ろう！	503名
7月	びゅんびゅんごまを作ろう！	595名	1月	節分かざりを作ろう！	243名
8月	うちわを作ろう！	453名	2月	ひな人形を作ろう！	333名
9月	うさぎののぼり人形を作ろう！	401名	3月	古代の文様でカードを作ろう！	260名

ここふる体験工房

地域の歴史や文化に親しみを持ち、展示から得られた理解をより身近に感じてもらうため、幼児から大人まで幅広い年齢を対象に、歴史や文化の要素を取り入れた有料の体験工房を実施している。

- ・開催日時：毎月第4土日 13時～15時 ・実施総数：12回（22日） ・参加者総数：229名

月	内容	参加者数	月	内容	参加者数
4月	チョークアート作り	19名	10月	ハロウィンのお菓子作り	24名
5月	ヒンメリ作り	16名	11月	勾玉ネックレス作り	22名
6月	折り染めうちわ作り	20名	12月	スタンプ布バック作り	20名
7月	編布編み体験・織りコースター作り	18名	1月	ペーパークラフト投壺作り	9名
8月	藍染め体験	20名	2月	昔のお金・貨布作り	21名
9月	刺し子体験	20名	3月	縄文小物入れ作り	20名

3-3 団体利用

10名以上の団体を対象に、館内や学校、公民館等の館外で利用できる様々な講座や史跡案内を実施した。職員及びふるさとの会サポーターによる館内見学や歴史体験講座を館内で行うほか、歴史体験講座などの一部は、館内だけでなく学校の授業や公民館での講演会でも実施可能としている。

また、利用者が当館で得た知識と情報を基に歴史やまちの魅力を体験できるよう、館内の学びのほかに、実際の史跡散策など、当館と史跡、大野城トレイルとの連携を図るプログラムを展開している。

・利用団体総数：34団体　・利用者総数：1,012名

館内学習・体験

講座名	内容	利用実績
心のふるさと館見学	各展示をガイド付きで見学	9団体（241名）
勾玉を作ろう！	滑石を紙やすりで磨いて勾玉を作る体験	1団体（21名）
昔遊びをしよう	けん玉やめんこ、カルタ等の昔あそびを体験します。	1団体（15名）
百間石垣ウォール・クライミング	高さ7mの壁でロープクライミングを体験します。	2団体（10名）

史跡散策

講座名	内容	利用実績
館外ガイド	水城跡・大野城跡や善一田古墳公園等、現地をガイド付で見学	7団体（226名）

出張講座

講座名	内容	利用実績
大野城市今昔物語	市内の歴史や発掘調査の成果についての講座	6団体（188名）
勾玉を作ろう！	滑石を紙やすりで磨いて勾玉を作る体験	8団体（311名）

3-4 まち歩き事業・文化財公開事業

遺跡などへの理解を深めるため、ガイド付きで実際に史跡めぐりを行うまち歩き事業や文化財の公開事業を実施している。

タイトル	開催日時	内容	参加者数
大野城跡とワンヘルスの森をあるく	11月15日（日） 12時半～16時	国指定特別史跡「大野城跡」の歴史と四王寺山の自然について現地解説。	30名

タイトル	開催日時	内容	参加者数
御笠の森と 日田街道をたずねる	10月4日（土） 10時 ～12時15分	雨天中止	0名
秋の須恵器窯跡 めぐり	10月25日（土） 9時20分 ～12時	市内3か所の牛頸須恵器窯跡をめぐるバスツアー。	25名
梅頭窯跡公開事業	10月25日（土） 10時～12時	梅頭窯跡の覆屋内を公開。牛頸須恵器窯跡の概要及び梅頭窯跡について解説。	38名
水城跡 KIKORI 体験会	3月1日（日） 10時～12時	水城跡の植生について学びながら、小径木の伐採、丸太切り、まどか弓の体験会を実施。	38名
水城をあるく	11月8日（土） 9時30分 ～12時	国指定特別史跡「水城跡」をめぐりながら現地解説。	20名
「西の都」史跡バス見学会 いにしえの要塞を巡る	11月22日（土） 13時～17時	「西の都」のサブストーリー（東アジア交流の原点）に基づき、梅頭窯跡、善一田古墳群、奴国の丘歴史資料館などをめぐるバスツアー。	25名
善一田古墳石室 公開事業	12月6日（土） 10時～12時	善一田古墳群の概要の説明と18号墳石室内などの見学。来場者にはクイズラリー用紙を配布し、参加者に九州古墳カードを贈呈。	66名
野添遺跡発掘調査 現地説明会	12月14日（日） 10時～12時	上大利に所在する須恵器窯跡の調査成果を公開・解説。	95名
大野城跡とワンヘル スの森を楽しむ	3月14日（土） 12時50分 ～17時	第1部で「四王寺山の歴史」について講座を行い、第2部で大野城跡の歴史と四王寺山の自然について現地解説。	26名
・事業実施総数：9回 ・参加者総数：363名			

3-5 講座・講演会

令和7年度に実施した「ここふるカレッジ」（講座・講演会）は以下のとおり。

館長講座

令和7年度は講座は実施せず、講座の実施方法や内容等について再検討することとした。

考古学講座

会場：大野城心のふるさと館 M2階 講座学習室 参加者総数：257 名

演題	講師	開催日	参加者数
農耕文化の伝播と弥生時代開始期の社会	九州歴史資料館 宮地 聡一郎氏	令和7年 10月19日(日)	55名
漁具からみた玄界灘沿岸地域の海人とその動き	福岡県教育委員会文化財保護課 大庭 孝夫氏	令和7年 11月16日(日)	53名
古代九州の蝦夷たち	大野城心のふるさと館 上田 龍児	令和7年 12月7日(日)	56名
筑紫の万葉考古学	筑紫野市教育委員会文化財課 小鹿野 亮氏	令和8年 1月10日(土)	47名
中世博多津の貿易と交流	元福岡市文化財課 大庭 康時氏	令和8年 2月15日(日)	46名

※開催時間は各日 14 時～16 時

古文書入門講座

会場：大野城心のふるさと館 M2階 講座学習室 参加者総数：375 名

演題	講師	開催期間	参加者数
高原家文書『諸規則』(全18回)	長崎大学名誉教授 柴多 一雄氏	令和7年 5月22日(木) ～令和8年 2月12日(木)	28名

※開催時間は各回 18 時～20 時

古典文学講演会

会場：大野城心のふるさと館 M2階 講座学習室 参加者総数：98 名

演題	講師	開催日時	参加者数
目加田誠博士の『世説新語』訳注	九州大学人文科学研究院 専門研究員 稲森 雅子氏	令和7年 6月5日(木) 14時～16時	36名
九州大学100年の中国学研究	九州大学文学部教授 静永 健氏	令和7年 10月4日(土) 14時～16時	27名
文学表現を意識した絵画	福岡女子大学名誉教授 月野 文子氏	令和7年 11月11日(火) 14時～16時	35名

竹田家文書関連講座

会場：大野城心のふるさと館 M2階 講座学習室 参加者総数：86名

演題	講師	開催日時	参加者数
竹田春庵の学問と人物像	久留米大学文学部教授 大庭 卓也氏	令和8年 1月18日（日） 14時～16時	42名
近代の日記からみる竹田家の資料 ー福岡県立図書館所蔵貝原益軒書簡 を中心にー	福岡県立図書館 川部 瑞代氏	令和8年 3月13日（金） 14時～16時	44名

3-6 ふるさとラボ

大野城市在住だった目加田誠・さくを氏夫妻から寄贈された蔵書類、並びに市の文化財に関する図書等を利用者が自由に閲覧できる開架図書としている（貸出不可、複写可）。壁面には目加田誠・さくを氏夫妻とその著作物の紹介、大野城市にゆかりの深い人物4名（米改良に取り組んだ末永仁氏、牛頸用水路に私財を投じた森山庄太氏、伊能忠敬氏（1812年に測量隊員が大野城市内を測量）、証券会社を設立して地元や市に多大な寄付を行った石井久氏）の解説パネルを設置している。

目加田さくを氏の解説パネルそばの展示ケースには、さくを氏が所蔵していた浮世絵の複製のうち、歌川広重の『広重の四季』を月に2回替えながら令和8年1月まで順次展示。2月からは若宮八幡宮伝来『岩佐又兵衛筆若宮三十六歌仙絵』を展示。また、目加田夫妻の業績をわかりやすく解説したパネルを2ヵ月に1回のペースで変更しながら掲示した。さらに、室内の展示ケースでは、両先生に関連する『源氏物語絵巻』（複製）、『中国李賢墓壁画』などを適宜展示した。

また、文化財関係書籍は、大野城市の発掘調査報告書、市名の由来ともなっている大野城跡に関連する古代山城関係書籍、本市南部の牛頸須恵器窯跡に関連する古代の焼き物須恵器とそれを焼成した窯跡関係の書籍を多く配架している。

さらに、令和4（2022）年から、九州大学で使用していた書棚や机を在野保存（利用しながら保存）している。

令和7年度入室者総数	27,836名
------------	---------

3-7 研修生等受入

学芸員課程博物館実習

学芸員課程を履修している学生を対象に、博物館の実習受入を行っている。令和7年度は座学、資料の取扱実習、実習成果の他、タイムライン展示を行った。

実施期間	学校名	参加者数
令和7年8月4日（月）～8月12日（火） ※8月10日（日）を除く ※8月11日（月）は大雨のため公共交通機関が不通となり来館できなかった佐賀大学の実習生2名はオンラインでの実習参加となった。	福岡大学	3名
	佐賀大学	2名
	西南学院大学	1名
	筑紫女学園大学	1名

職場体験

市内中学校の生徒を対象に、土器洗浄等の文化財担当業務や、展示替え等のミュージアム担当業務などの職場体験を行った。

実施期間	学校名	参加者数
令和8年1月20日（火）、21日（水）	大野中学校	4名
令和8年1月29日（木）、30日（金）	大野東中学校	3名

インターンシップ

令和7年度は、インターンシップの受け入れは未実施。

4 催し・施設貸出など

4-1 にぎわいづくり事業

まちの宝である地域で活躍する人など、市の魅力発信とまちのにぎわい創出を目的に、市内の団体や民間事業者等、多様な主体と連携した当館主催のイベントを行っている。

・令和7年度実施イベント総数 12件

ここふるハイハイレース

開催日 令和7年4月18日（金）・19日（土）、9月12日（金）・13日（土）、12月19日（金）・20日（土）

内容 ハイハイできる未歩行の赤ちゃんとその保護者を対象としたレースを実施。参加者には参加賞として景品をプレゼントした。

参加者数 408名

ここふるゴールデンウィーク 2025「こいのぼりは何番目？」

- 期 間 令和7年4月19日（土）～5月6日（振休・火）
- 内 容 1階フロア4ヶ所に設置したパネルを探し、貸出タブレットをかざして浮き出てきたこいのぼりのイラストを見て、解答用紙と同じこいのぼりが上から数えて何番目にいるかを解答用紙に記入してもらい、3階のふるさとラボでカード台紙を受け取り、目とうろこのパーツを選んで貼り、こいのぼりカードを完成させる企画。解答者には景品をプレゼントした。
- 参加者数 458名、SNSフォロー企画 92名

ここふるカタカタレース

- 開 催 日 令和7年5月23日（金）・24日（土）、令和8年2月27日（金）・28日（土）
- 内 容 3歳未満の押し車を押して歩ける幼児とその保護者を対象としたレースを実施。参加者には参加賞として景品をプレゼントした。
- 参加者数 184名

ここふる夏休み 2025「魔法のコンパクト・腕時計をつくろう！」

- 期 間 令和7年7月15日（火）～9月7日（日）
- ① コンパクト：令和7年7月15日（火）～8月11日（祝・月）
- ② 腕時計：令和7年8月13日（水）～9月7日（日）
- 内 容 3階ふるさとラボで、コンパクトまたは腕時計の台紙を受け取り組み立てて土台を作り、館内を回って5つのパーツを探し、見つけたパーツを土台に貼る企画。5つのパーツをすべて集めて貼り終えたら、1階総合案内で完成したコンパクトまたは腕時計を見せて、景品をプレゼントした。
- 参加者数 7,043名 ①コンパクト：3,900名 ②腕時計：3,143名
- SNSフォロー企画 375名 ①コンパクト：219名 ②腕時計：156名

おおの山城大文字まつりコラボイベント「縁日屋台～わなげや射的に挑戦しよう！～」

- 開 催 日 令和7年9月27日（土）・28日（日）
- 内 容 参加券1枚で、射的・スマートボール・わなげ・千本釣りのいずれかに1回挑戦できる縁日イベントを実施。参加券入手方法は以下のとおり。
- ① 期間中、館内に設置されたスタンプをすべて押した用紙を総合案内に提出する。
- ② ここふる友の会会員カードを1階総合案内に提示する。
- ③ 心のふるさと館のアカウントフォロー画面を1階総合案内に提示する。
- ④ 1階ここふるショップで、買物をする（500円ごとに1枚配布）。
- ⑤ 九大ワークショップ参加者及び夏季周遊イベントの腕時計作り（8月13日～9月7日）参加者の景品として参加券がついた縁日屋台のチラシを受け取る。
- ※①～③は1人につき1日1枚のみの配布。

参加者数 4,908 名
(射的：1,403 名、スマートボール：834 名、わなげ：1,037 名、千本釣り：1,634 名)

ここふるおしり歩きレース

開催日 令和 7 年 10 月 25 日（土）・26 日（日）
内 容 3 歳以上のおしり歩きができる幼児とその保護者を対象としたレースを実施。参加者には参加賞として景品をプレゼントした。
参加者数 57 名

「ここふるオータムコンサート」

開催日 令和 7 年 11 月 9 日（日）
内 容 福岡県内で活動する打楽器アンサンブルのメンバーら 4 名による打楽器コンサートを実施。
※パーカッションアンサンブル・ポットベリー
参加者数 110 名

ここふるハロウィン 2025「ハロウィンパーティー会場はどこだ!？」

期 間 令和 7 年 10 月 11 日（土）～10 月 31 日（金）
内 容 1 階フロア 4 ヶ所に設置したパネルを探し、貸出タブレットをかざして浮き出てきた文字を解答用紙に記入し、わかったパーティー会場（3 階ふるさとラボ）に行き、3 つのスタンプを解答用紙に押す。1 階総合案内で解答用紙を提出することで景品をプレゼントした。
キャラクターとお菓子のイラストを線で結び、3 階のふるさとラボで引いたお菓子カードと同じお菓子のイラストに丸を付ける企画を実施。正解者には景品をプレゼントした。
参加者数 940 名、SNS フォロー企画 115 名

ONJO Christmas Market 2025

期 間 令和 7 年 12 月 12 日（金）～12 月 13 日（土）
内 容 まどかぴあ南側広場でのイルミネーション点灯を中心とした、当館と大野城まどかぴあ、大野城市社会福祉協議会、にぎわいづくり協議会との連携したクリスマスイルミネーション 2025 の関連イベントとして実施。心のふるさと館では 12 月 13 日（土）先着 100 名に「世界にひとつのツリーオーナメント」としてクリスマスオーナメント作成する企画を行うとともに 12 月 12 日（金）～12 月 13 日（土）の期間中にジョーホールでクリスマスミニライブを実施した。

ここふるメリクリ 2025「サンタさんを探そう!」

期 間 令和 7 年 12 月 6 日（土）～12 月 25 日（木）
内 容 館内に隠れた足長サンタの人形の数当て企画を実施。正解者には景品をプレゼントした。
参加者数 822 名、SNS フォロー企画 132 名

ここふるバレンタインデー・ホワイトデー2026「お菓子の数はいくつかな？」

期 間 令和8年1月31日（土）～2月15日（日）、2月28日（土）～3月15日（日）

内 容 1階に設置してある4枚のパネルを探し、貸し出し用タブレットをかざし浮き出てきたイラスト内のお菓子の数を数えて解答用紙に記入し、3階のふるさとラボで3つのスタンプを押す。解答用紙を提出した参加者に景品をプレゼントした。

参加者数 1,014名、SNSフォロー企画153名

4-2 つながる事業

当館のキーワードである「歴史」「子ども」「にぎわい」を基に、世代を超えた交流の展開のため、多様な主体の参画による運営を目的とした、つながる事業を実施している。一定の要件を満たした個人や団体等から非営利を目的とした公益性の高い事業を募り、市と共働で事業を行うことで、新たなまちのにぎわいや人の交流の創出を図っている。 ※（◎）は昨年度から引き続き実施したもの。

・令和7年度実施イベント総数 16件

藍染—見て触れて楽しむ—（◎）

期 間 令和7年3月25日（火）～4月6日（日）

内 容 自然がもつ美の素晴らしさを伝えるため、古来からの染色である藍染の作品を展示した。同時に、紐や板を使う絞り染を取り入れながら藍染ハンカチを作るワークショップを実施した。



ここふる Autumn Jazz Live

開催日 令和7年9月21日（日）

内 容 本格的なジャズや、誰もが知っている曲をジャズアレンジしたもの等、幅広い曲の演奏を行い、大人も子どもも楽しんでいた。



カリグラフィー作品展（◎）

期 間 令和7年10月7日（火）～10月19日（日）

内 容 西洋の書道といわれるカリグラフィーの作品を展示した。また、専用の道具を使ってカリグラフィーのカードをデザインするワークショップを行った。



まちかど美術館（◎）

期 間 令和7年11月1日（土）～11月9日（日）

内 容 「わたしのゆめ」（なりたいお仕事）という題材で、市内の小学校2年生を対象に絵画を集め、優秀賞を受賞した作品の展示を行った。



一般社団法人大野城市にぎわいづくり協議会プレゼンツ「まちの宝びと・宝モノ作品展とワークショップ」グラスアート展（◎）

期 間 令和7年11月26日（水）～令和7年12月7日（日）

内 容 （一社）大野城市にぎわいづくり協議会で集約した宝びと、宝モノの活用と情報発信と同時に地域資源である大野城心のふるさと館、宝びとの活動を多くの方に知ってもらうことを目的に実施。今回のテーマはグラスアート作品の魅力を発信するため、展示とワークショップを実施した。



第11回九博ふるさとセミナー

開催日 令和7年12月6日（土）

内 容 九州国立博物館周辺の地域を『九博のふるさと』と位置づけ、九博と市民とのかけはし事業の一環として、毎年開催している九博ふるさとセミナー。第11回目の開催となる今回は、大野城市に着目しセミナーを開催した。



MOA美術館福岡児童作品展大野城地域展（◎）

期 間 令和7年12月9日（火）～12月18日（木）

内 容 作品発表の場を提供し、子どもたちの創作意欲を高め、地域の芸術振興に努めるとともに、絵をきっかけにしたコミュニケーションを創出するために企画された。市内の小学生や絵画教室に通う子どもを対象に絵画を募集し、審査員により入賞作品を決定し展示と表彰式を行った。



チョークアート展

期 間 令和7年12月23日（火）～令和8年1月12日（祝・月）

内 容 おおのじょう MONO 創り Lab. と協力し、チョークアートの認知度向上を目的とした展示と、楽しさを知ってもらうためのワークショップを開催した。



大野城の宝フォトコンテスト 2024 入賞作品展示（◎）

期 間 令和8年1月14日（水）～1月18日（日）

内 容 大野城の宝フォトコンテストに応募された、大野城市内で撮影された作品の中から、一般投票で入選した写真を展示した。



第26回大野城市美術協会展

期 間 令和8年2月10日（火）～2月23日（祝・月）

内 容 大野城市の芸術の振興普及を目的に会員の芸術意識の向上や芸術に日常触れる機会のない方にも鑑賞機会を提供することを目的に、会員全員の工芸、絵画、写真、書を展示した。

**一般社団法人大野城市にぎわいづくり協議会プレゼンツ
「まちの宝びと・宝モノ作品展とワークショップ」**

Hawaii in ONOJO Part1「ハワイアンキルト展」(◎)

期 間 令和8年3月17日(火)～3月22日(日)

内 容 市内のパッチワーク教室&ハワイアンキルト教室の
作品展示とワークショップを実施した。



**一般社団法人大野城市にぎわいづくり協議会プレゼンツ
「まちの宝びと・宝モノ作品展とワークショップ」**

Hawaii in ONOJO Part2「ハワイアンリボンレイ展」(◎)

期 間 令和8年3月24日(火)～3月29日(日)

内 容 ハワイアンリボンレイ教室の作品展示とワークショ
ップを実施した。



コワーキング・リフレッシュスペース「ままいる一む」(◎)

開催日 全6回〔令和7年4月19日(土)、5月18日(日)、6月1日(日)、7月10日(木)、10月26日(日)、11月12日(水)、12月11日(木)、令和8年1月10日(土)、2月27日(金)、3月28日(土)〕

内 容 家庭などで保育をする人たちのために育児と仕事の両立支援等を目的としたコワーキングスペースを提供した。保育をする人の居場所作りとして定期的に開催しており、ワークショップや講座も実施した。



紙芝居をたのしみましょう

開催日 令和7年4月6日(日)、6月1日(日)、8月3日(日)、10月5日(日)、12月7日(日)、令和8年2月1日(日)

内 容 さまざまな紙芝居を30分間演じるイベントを定期的に開催した。昭和の暮らしコーナーや、ジョーホールにマット席を用意し、親子で一緒に楽しい時間を共有できるイベントとなった。



宇宙の学校® (◎)

開催日 全3回〔令和7年8月2日(土)、12月20日(土)、令和8年2月14日(土)〕

内 容 宇宙教育を通じて子どもたちに夢をもってもらうことを目的として、親子で取り組む工作と実験のスクーリングを開催した。身近なテーマから科学を学ぶコンテンツとなっている。



ほっこり写真展・お写真保撮影会 (◎)

期 間 令和7年9月16日(火)～9月25日(木)、令和8年3月3日(火)～3月15日(日)

内 容 半年間にわたって撮影した大野城心のふるさと館のほっこりする写真を展示する企画を実施した。撮影会では、家族の思い出になる写真データを無償提供した。



4-3 活用事業

大野城市役所の各部署等によるイベントや展示等を当館と共働で行う活用事業を行っている。

令和7年度に活用事業として当館で実施された展示、イベントは以下のとおり。活用事業による講座学習室の利用については、4-4 施設貸出にて後述する。

大野ジョーくん&まどかちゃんとあそぼ

開催日 全8回〔令和7年4月19日(土)、6月21日(土)、8月16日(土)、10月18日(土)、12月20日(土)、令和8年1月17日(土)、1月31日(土)、1月31日(土)、3月14日(土)〕

内 容 市のキャラクターである大野ジョーとまどかちゃんとの対決系ゲーム・参加型ゲームや記念撮影、ハロウィン、クリスマス、かるた大会などのイベント。原則、毎月第3土曜日開催。6月21日と8月16日については、夏季特別展開催中につき、ジョーホールの使用が出来なかったため、グリーティング・写真撮影のみ実施。

担当課 プロモーション推進課

ここふるオレンジカフェ

開催日 全12回〔令和7年4月14日(月)、5月12日(月)、6月9日(月)、7月7日(月)、8月4日(月)、9月8日(月)、10月14日(火)、11月10日(月)、12月8日(月)、令和8年1月13日(火)、2月9日(月)、3月9日(月)〕

内 容 認知症の人やその家族が気軽に通える場として、認知症カフェを開催。認知症や介護に関する相談窓口や回想法を利用したDVDの放映、リズム体操、歌等を実施。

担当課 すこやか長寿課

大野城市シニア大学「山城塾」

開催	全 24 講座 91 回〔講座学習室〕
内 容	高齢者に対して学習機会の提供、研究活動の支援を行うことにより、「高齢者の生きがいづくり」および「生涯学習の促進」を図ることを目的に開催。
担当課	すこやか長寿課

「おおのじょうプレミアム商品券」販売事業

開催日	令和 7 年 5 月 1 日（木）～5 月 20 日（火）
内 容	「おおのじょうプレミアム商品券」周知パネル、及び応募ハガキ投函 BOX 1 台を設置し、販売を実施した。
担当課	産業振興課

介護事業所就職説明会

開催日	令和 7 年 6 月 20 日（金）、令和 7 年 6 月 21 日（土）
内 容	介護人材不足解消への取り組みとして、市内の介護事業所の就職説明会を開催。
担 当	介護支援課

市民ワークショップ

開催日	令和 7 年 8 月 21 日（木）、8 月 28 日（木）、9 月 5 日（金）
内 容	市民とともにシティプロモーションに係るブランドメッセージを制作し、その制作過程を通して、市民の郷土に対する理解を深め、郷土の継承を図る。
担当課	プロモーション推進課

ふくしフェスティバル

開催日	令和 7 年 11 月 23 日（日）〔ジョーホール〕
内 容	市全体の地域福祉活動の推進及び高齢者福祉、障がい者福祉、児童福祉等に対する正しい理解と普及啓発を図るため、ボッチャ体験や障がい者スポーツに関する展示、福祉用具を体験してもらうことで、市全体の地域福祉活動を発展させることを目的としたもの。
担当課	福祉サービス課

芸術文化ワークショップ体験講座

開催日	令和 7 年 12 月 14 日（日）
内 容	大野城市民や市内で活動している方々がワークショップ体験を通して芸術文化の考え方を知り、課題を解決するためのアプローチ方法を実践的に学ぶ講座。
担当課	コミュニティ文化課

まごころアート FUKUOKA GALLERY

開催日	令和8年1月20日（火）～2月1日（日）〔ジョーホール〕
内 容	福岡県が実施している障がい者アーティストの作品展示。大野城在住のアーティストのために「大野城アーティストコーナー」を設ける。
担当課	コミュニティ文化課

当事者の声から学ぶ不登校フォーラム

開催日	令和8年2月28日（土）
内 容	不登校や行き渋りに悩む方を対象とした講演及び不登校を経験者した青年たちが体験談を話す座談会を実施する。
担当課	教育支援課

大野城まち歩きツール「ジョークエスト」感謝祭

開催日	令和8年3月14日（土）
内 容	令和8年3月31日に終了するジョークエストのポイント保有者に向けて、ポイントを使用できる千本釣りやグッズのつかみ取りなどのイベントを開催。
担当課	プロモーション推進課

4-4 施設貸出

一般利用者向けに講座学習室及び大野城コレクションの有料貸出を行った。また、館の活用促進のため、大野城市の各部署や市立小・中学校の事業を館内で実施する活用事業や様々な団体との共働事業であるつながる事業による利用も行った。

令和7年度 年間実績	講座学習室			大野城コレクション
	一般貸出	活用事業	つながる事業	一般貸出
申込件数	51 件	125 件	17 件	1 件
使用料収入	123,730 円	—	—	5,880 円

4-5 ここふるショップ

館オリジナルグッズや大野城市特産品・推奨品、市のキャラクターグッズ、被災地（東北地方、熊本県、能登半島）特産品・名産品、市内福祉団体商品などを販売するミュージアムショップと、軽食や市内の参画団体によるランチを提供するカフェ、ハンドメイド商品の委託販売ができるチャレンジスペースブースを併設している。

また、店内にて販売している被災地特産品・名産品の収益を各被災地へ寄付金として送付する被災地支援事業を実施している。

開店日・時間 大野城心のふるさと館開館日の10時～18時

カフェ ランチタイム：11時30分～14時30分 オーダーストップ 17時30分

3団体にて日替わりランチメニューを提供。参画団体は以下のとおり。

カフェヒュッテ、SBYスイミング、マルイチ

限定メニュー

企画展・特別展やイベントと連携した限定メニューを提供している。令和7年度提供の限定メニューは以下のとおり。

イベント	メニュー	価格
令和7年度春季特別展 「映画『もののけ姫』から学ぶ考古学」	森のアイス	330 円
夏休み・おおの山城大文字まつり	かき氷（いちご・きなこカフェオレ）	440 円
令和7年度秋季特別展 「神技の複製アート展」	ヴィーナスミニサンデー	350 円
まどかフェスティバル	サンデー	350 円
クリスマスフェア	クリスマスパンケーキ	420 円 (DS570 円)
令和7年度地域文化財展 記録された日常 ー市内に伝わる江戸時代の記憶ー	発掘気分を味わうカップデザート	400 円
バレンタインデー	バレンタインワッフル	500 円 (DS650 円)
ホワイトデー	ホワイトデーワッフル	350 円 (DS500 円)

※DS・・・ドリンクセット

チャレンジスペースブース

ショップ内に設置しているアクリルボックスに手作り商品や作品を自由にレイアウトして展示・販売活動ができる。手数料として、A規格は売上金の20%、B規格は売上金の25%を設定している。

令和7年度貸出実績	利用者数	出店期間（全4期）
A（縦34.4cm×横29.4cm×奥行27cm）	48名	令和7年4月1日（火）～6月29日（日） 令和7年7月1日（火）～9月30日（火） 令和7年10月1日（水）～12月27日（土） 令和8年1月6日（火）～3月31日（火）
B（縦34.4cm×横59.4cm×奥行27cm）	48名	

被災地支援事業

被災地からの特産品の仕入により、被災地の事業者を応援するとともに、被災地支援商品の販売収益を寄付金として東日本大震災等の被災地へ寄付する二重の支援活動を行っている。

事業名	説明	期間
被災地応援フェア	被災地応援商品を 1,000 円(税込)以上購入した方に「わんこきょうだいグッズ」をプレゼント。	令和 8 年 3 月 10 日(火)～ 3 月 31 日(火)

令和 7 年度寄付金

寄付額	内訳		使途
473,704 円	東北地方	398,311 円	東北地方災害復旧支援金
	熊本県	67,302 円	熊本城災害復旧支援金
	能登半島	8,091 円	能登半島災害復旧支援金

4-6 オリジナルグッズ

館オリジナルのミュージアムグッズを製作し、ここふるショップで販売している。

令和 7 年度に制作したグッズは以下のとおり。

ポロシャツ		タオルハンカチ	
-------	--	---------	--

5 他機関との連携・交流

5-1 大韓民国国立公州大学校歴史博物館学術文化交流協定

平成 30 年度に実施した第 2 回特別展「再々発見！古代山城と水城・大野城」での国立公州大学校博物館所有の文化財借用を契機として、両館の学術文化交流の推進を目的とした協定（平成 30 年 10 月 10 日から 5 年間）を締結。協定書の有効期限に伴い、令和 5 年度には協定書の再締結のための調印式を実施。本協定に基づいて、調査研究、収集、保存、展示、活用等に関して、両館の研究者や職員等の交流、情報交換を目的とした「公州大学校歴史博物館連携事業」を継続して実施した。

企画展「今だからこそ知ってほしい『西の都』の時代の大野城市」展での事業紹介

期 間	令和 7 年 3 月 25 日（火）～令和 7 年 6 月 8 日（日）
内 容	「西の都」成立前後に大きく影響を与えた大野城市の歴史を紹介する企画展のなかで、協定の内容と公州大学校歴史博物館連携事業について紹介した。
展 示 物	円筒状土製品、玉類、灯明皿、連携事業紹介パネル

文化財の調査研究

期 間	令和7年11月3日（月）～7日（金）
内 容	（1）公州大学校歴史博物館所蔵資料の調査 （2）須恵器に関する学術文化交流研究発表会と意見交換
目 的	大野城市出土の朝鮮半島系資料と朝鮮半島出土資料との比較研究を目的に、公山城百済王宮関連遺跡から出土した百済土器大型蓋・蓋杯・碗・短頸壺・瓶、新羅土器碗など計66点の資料を実見した。また、公州大学校歴史博物館職員向けに須恵器についての講話と、2か年に及ぶ調査研究成果について報告し、相互の学術的交流及び考古学研究の発展に寄与した。

調査研究成果パネル展

期 間	令和8年1月31日（土）～3月29日（日）
内 容	協定の内容や公州大学校歴史博物館連携事業について紹介するとともに、令和5～7年度に行った公州市出土の百済土器・新羅土器の調査について、本市出土資料との比較によって得られた、百済土器と新羅土器の製作技法上の相違点などの様々な成果をパネルにて展示した。

アンケート回収数 195 件

5-2 視察等受入

令和7年度に受け入れた視察は1件。詳細は以下のとおり。

視察日	受入団体	人数
令和8年3月3日（火）	静岡市観光交流文化局歴史文化課	2名

5-3 九州大学連携協力推進事業

平成31年3月に締結した「国立大学九州大学と大野城市との連携協力に関する協定書」に基づき、共働事業の実施やオープンキャンパスへの参加などを行った。

ワークショップ「九大生とあそぼう！スーパーボール&海水カクテル作り」

日 時	令和7年8月3日（日）10時～12時／13時～16時
内 容	九州大学の学生15名を講師として、スーパーボール作りと海水カクテル作りのワークショップを実施。
参加者数	494名

ここふるサイエンスカフェ

令和3年度から筑紫地区地域連携推進チームとの共働により、九州大学から講師を迎え、科学の面白さ、奥深さ、生活との結びつきについて、誰でも楽しく気軽に学べる講座を実施している。令和7年度は4回実施した。

Vol. 14 「海面の波と流れを通して見た地球環境」

日 時 令和 7 年 6 月 13 日（金）19 時～20 時 30 分

講 師 杉原 裕司 氏（九州大学総合理工学研究院教授）
ファシリテーター：萩島 理 氏（九州大学総合理工学研究院教授）

参加者数 44 名

Vol. 15 「半導体って何？身近な製品で感じてみて！」

日 時 令和 7 年 9 月 26 日（金）19 時～20 時 30 分

講 師 奥山 哲也 氏（九州大学総合理工学研究院教授）
ファシリテーター：吉武 剛 氏（九州大学総合理工学研究院教授）

参加者数 56 名

Vol. 16 「放電プラズマの医療、農業、環境応用技術について」

日 時 令和 7 年 11 月 21 日（金）19 時～20 時 30 分

講 師 林 信哉 氏（九州大学総合理工学研究院教授）

参加者数 35 名

Vol. 17 「洋上風力発電の成功のカギを握る「風の研究、風車ウエイク研究」とは？」

日 時 令和 8 年 3 月 13 日（金）19 時～20 時 30 分

講 師 内田 孝紀 氏（九州大学応用力学研究所教授）

参加者数 43 名

6 市民・地域との連携

6-1 ふるサポの会

当館は市民をはじめとした多様な主体が参画する運営を基本としているため、その一環として、16 歳以上の市民等によるサポーター制度「ふるサポの会」を導入しており、サポーターが展示解説やワークショップ・事業運営・ここふるショップ&カフェの支援を行っている。サポーター活動を行う上で必要な入門研修や特別展などに特化したスキルアップ研修等を定期的実施するほか、サポーターがそれぞれ有する様々な知識・経験を活かした活躍の場を広げるための環境整備を進めている。

会員数（新規登録者数） （令和 8 年 3 月 31 日現在）	サポーターのべ活動回数（年間）
91 名（14 名）	1,355 回

サポーター研修等			
No.	研修内容	実施回数	参加者数
1	入門研修	2回	14名
2	スキルアップ研修（館内ガイド）	2回	44名
3	サポーター向けギャラリートーク（特別展「映画『もののけ姫』から学ぶ考古学」）	2回	25名
4	事前見学・体験会（特別展「魔法の美術館」）	1回	22名
5	サポーター向けギャラリートーク（地域文化財展「記録された日常－市内に伝わる江戸時代の記憶－」）	2回	31名

6-2 ここふる友の会

来館の促進を目的に、心のふるさと館に関する情報提供などを行うここふる友の会を発足した。

会員数：3,161名（令和8年3月31日時点）うち、令和7年度新規有料入会者数 358名

入会費：200円（年会費なし、有効期限なし）

特典	・会員カードの交付（利用や活動に応じてスタンプを貯め、スタンプ数に応じてここふるカフェのドリンク割引券やオリジナルグッズと交換できる） ・イベント等の事業情報のメール配信 ・特別展内覧会の案内 ・特別展観覧の友の会料金適用 ・ここふるショップにて2,000円以上の購入で50円引き
----	--

ここふる友の会会員カード

（表）



（裏）



6-3 山城楽講

市の史跡案内ボランティアを養成し、イベント等で史跡案内を行っている。これまでの研修修了者は定例会を通じて、定期的に情報共有、自己研鑽に努めている。令和7年4月からは9期生の養成研修を開始し、令和8年3月27日（金）に16名が研修を修了した。

登録者数：31名（令和8年3月31日時点）

活動イベント	実施日	内容	活動者数
学校連携事業 （大野東小学校）	令和7年 9月12日（金）	大野東小学校5年生4クラスに大野城跡を解説。	4名
第42回おおの山城 大文字まつり	令和7年 9月28日（日）	古代山城関連事業推進協議会と山城楽講でパレードの後、ステージでPR。	10名

活動イベント	実施日	内容	活動者数
団体利用（㈱阪急交通社）	令和7年 10月5日（日）	日本100名城九州名城めぐりツアー団体に大野城跡を解説。	2名
大野城跡（四王寺山） 森林浴ウォーキング	令和7年 10月18日（土）	四王寺県民の森センター主催事業で大野城跡を解説。	1名
梅頭窯跡公開	令和7年 10月25日（土）	牛頸須恵器窯跡群のひとつ・梅頭窯跡を公開。	2名
秋の須恵器窯跡めぐり	令和7年 10月25日（土）	牛頸須恵器窯跡群の梅頭窯跡、小田浦窯跡、長者原窯跡の解説。	1名
鞠智城説明ボランティア ガイドとの交流会	令和7年 10月26日（日）	国史跡鞠智城説明ボランティアガイドに大野城跡の解説と交流。	5名
史跡めぐり 水城をあるく	令和7年 11月8日（土）	水城跡のみどころを解説。	3名
史跡めぐり 大野城跡と ワンヘルスの森を歩く	令和7年 11月15日（土）	大野城跡とワンヘルスの森を見学・解説。	3名
西の都史跡バス見学会	令和7年 11月22日（土）	大野城跡と基肄城、水城跡東門をマイクロバスで見学するイベントで解説。	1名
学校連携事業 （大野東中学校）	令和7年 11月27日（木）	大野東中学校1年生6クラスに大野城跡を解説。	6名
善一田古墳群の石室公開	令和7年 12月6日（土）	善一田古墳公園の石室公開と解説。	2名
団体利用 （クラブツーリズム㈱）	令和7年 12月14日（日）	北九州100名城めぐりツアー団体に大野城跡を解説。	2名
団体利用 （㈱阪急交通社）	令和7年 12月18日（木）	日本100名城九州名城めぐりツアー団体に大野城跡を解説。	2名
学校連携事業 （大野北小学校）	令和8年 2月19日（木）	大野北小学校5年生4クラスに大野城跡を解説。	4名
団体利用（㈱阪急交通社）	令和8年 2月22日（日）	日本100名城九州名城めぐりツアー団体に大野城跡を解説。	3名
大野城跡と ワンヘルスの森を楽しむ	令和8年 3月14日（土）	大野城跡、基肄城跡、水城跡の日本遺産をめぐりツアーで解説。	5名
団体利用（山陽新聞旅行社）	令和8年 3月15日（日）	日本100名城に行こうツアー団体に大野城跡を解説。	2名
「西の都」の魅力とこれから	令和8年 3月21日（土）	九州国立博物館1階ミュージアムホールで開催された「西の都」PRイベントで発表。	11名
定例会・養成研修等	実施日	内容	活動者数
定例会	年間10回	山城楽講生による自主運営、活動内容協議および自主研究発表、座学による研修等	240名

定例会・養成研修等	実施日	内容	活動者数
現地研修会	令和7年 11月26日(水)	行橋市御所ヶ谷神籠石の見学とガイドボランティア団体と意見交換等	15名
9期生研修	令和7年 4月25日(金)	開講式と講話「大野城跡を知ろう」	18名
	令和7年 5月16日(金)	大野城跡での実地研修(増長天礎石群、鏡池、太宰府口城門、尾花礎石群)	19名
	令和7年 6月27日(金)	大野城跡での実地研修(増長天礎石群、鏡池、太宰府口城門、尾花礎石群)	15名
	令和7年 7月18日(金)	講話「牛頸須恵器窯跡」、実地研修 梅頭窯跡	16名
	令和7年 8月22日(金)	サポーター研修	10名
	令和7年 9月19日(金)	講話「水城跡を知ろう」	19名
	令和7年 10月10日(金)	水城跡での実地研修(ゆめ広場、推定望楼跡、土塁取付部、西門跡、木樋跡)	14名
	令和7年 11月28日(金)	水城跡での実地訓練(ゆめ広場、推定望楼跡、土塁取付部、西門跡、木樋跡)	16名
	令和7年 12月19日(金)	小水城跡での実地研修(大土居小水城跡、天神山小水城跡、上大利小水城跡)	15名
	令和8年 1月16日(金)	水城東門跡での実地研修※大宰府史跡解説員ガイドボランティアに解説依頼。	14名
	令和8年 2月27日(金)	善一田古墳公園での実地研修	14名
	令和8年 3月27日(金)	認定書授与式	14名

6-4 史跡環境整備サポーター事業

安全安心かつ快適な史跡環境を目指すとともに、史跡に愛着を持ってもらうため、平成28年度から住民参加型の史跡管理事業を行っている。対象地は、水城跡、牛頸須恵器窯跡とし、大野城市緑化推進協議会の協力を得ながら、年間を通して定期的に小径木や竹の伐採、下草刈りを実施した。

活動回数：17回 活動者数：139名

対象史跡	実施日	活動者数
牛頸須恵器窯跡	令和7年4月19日(土)	9名
	令和7年5月8日(木)	6名

対象史跡	実施日	活動者数
牛頸須恵器窯跡	令和7年6月12日(木)	雨天中止
	令和7年9月11日(木)	5名
	令和7年10月9日(木)	7名
	令和7年11月13日(木)	6名
	令和7年12月11日(木)	7名
	令和8年1月8日(木)	2名
	令和8年2月12日(木)	4名
	令和8年3月12日(木)	6名
水城跡	令和7年4月26日(土)	13名
	令和7年5月27日(火)	14名
	令和7年6月24日(火)	雨天中止
	令和7年9月16日(火)	9名
	令和7年10月28日(火)	9名
	令和7年11月25日(火)	雨天中止
	令和7年12月23日(火)	11名
	令和8年1月27日(火)	11名
	令和8年2月24日(火)	10名
	令和8年3月17日(火)	10名

7 情報発信・広報

7-1 情報発信・広報ツールの活用

公式ウェブサイト

URL <https://www.onojo-occm.jp/>

SNS

フォロワー数	LINE	Instagram	X (旧 Twitter)	Facebook
(令和8年3月31日時点)	2,264	3,101	1,481	695

7-2 発行物

機関紙「ここふるニュース」

年間4回発行。市広報紙に折込み配布を行った。

発行日	版	主な内容	発行部数	広報折込部数
令和7年 7月1日	vol. 24	令和7年度夏季特別展 「光と遊ぶ超体感型ミュージアム 魔法の美術館」	50,000 部	47,800 部
令和7年 10月1日	vol. 25	令和7年度秋季特別展 「さわれる名画神技の複製アート展」	50,000 部	47,900 部
令和8年 1月1日	vol. 26	令和7年度地域文化財展 「記録された日常ー市内に伝わる江戸時代の記憶ー」	50,000 部	48,000 部
令和8年 3月15日	vol. 27	令和8年度春季特別展 「写真展 星野道夫 悠久の時を旅する」	50,000 部	48,100 部

ここふる学校

当館のスタッフがそれぞれの知識・経験を活かして様々な授業を公式ウェブサイト上で発信している。
令和7年度の公開は以下のとおり。

媒体	内容
動画	● わたしたちの文化財クイズ 11 ● わたしたちの文化財クイズ 12 ● わたしたちの文化財クイズ 13 ● わたしたちの文化財クイズ 14 ● わたしたちの文化財クイズ 15 ● わたしたちの文化財クイズ 16 ● わたしたちの文化財クイズ 17 ● わたしたちの文化財クイズ 18 ● わたしたちの文化財クイズ 19 ● わたしたちの文化財クイズ 20

大野城市の文化財

発行日	題名	発行部数
3月27日	『牛頸地区のおせったいひき』 大野城市の文化財第56集	2,000 部

紀要

発行日	題名	発行部数
3月18日	『市民ミュージアム 大野城心のふるさと館 紀要 第5号』	500 部

8 資料収集・調査・貸出

8-1 資料の収集

令和7年度の寄贈資料は3件。詳細は以下のとおり。

資料名	内容	点数	寄贈者
山上家資料	大野村村長及び大野町町長を務めた山上高太郎氏が昭和8（1933）～49（1974）年に書いた日記34点と私小説『靈光を凝視めて』1点。昭和恐慌後の大野産業組合の復興を記した昭和10（1935）年刊行『復興の五ケ年』1点。名寄寫や字図等の山上家土地関係資料28点。昭和36年に米軍リバー司令官から山上高太郎氏に贈られた友好記念の帽子1点を含む。	65点	個人
火鉢	『住民登録調査記念 昭和二十七年七月一日 大野町』『贈記念 大野町』の文字が書かれている。	2点	個人
山上家写真資料	昭和3（1928）～43（1968）年までのアルバム等6点（内、モノクロ写真145枚）。牛頸で発見した須恵器窯跡や牛頸小学校新校舎建築等、戦前から戦後の大野村や大野町を撮影した写真。	6点	個人

令和7年度の寄贈資料（参考資料）は3件。詳細は以下のとおり。

資料名	内容	点数	寄贈者
雛人形	2000年代初頭に購入された7段飾りの雛人形と吊るし雛のセット。昭和のくらしコーナーにて飾りつけなどで活用。	1式	個人
掛け軸	「虎」「拓本」「神号」の掛け軸。博物館実習などで活用。	3点	個人
「支那戯曲小説史上に於ける西遊記の發展」	目加田誠氏が東京大学に提出した卒業論文（複写）のコピー。ふるさとラボで活用。	1点	個人

8-2 資料の調査

歴史資料

令和7年度に行った資料の特別利用許可（資料熟覧・撮影）は10件。詳細は以下のとおり。

	資料名	点数	利用者	使用目的
目 加 田 家 寄 贈 資 料	『捜神記 世説新語』（世界書局） 『世説音釈』影印本 『世説講義』（田中履堂） 『世説鈔撮』 『世説新語補索解』 『世説新語』（臺灣中華書局） 『世説新語』（香港學林書店） 『世説新語注』（太平書局） 『世説新語箋疏』（中華書局） 『唐寫本世説新書』・『宋本世説新語』 『世説解』 『世説解摺拾』 『世説新語補系譜』 『「世説新語注」注解』 『世説新語』（有朋堂書店） 『世説新語』（高橋写真） 『世説新語校箋』（宏業書局） 『世説新語校箋』（香港大衆書局）	計 24 冊	九州大学	研究のため
	硯	2 点	九州大学	研究のため
	周作人書軸	1 点	九州大学	研究のため
	『古蹟承徳喇嘛案内記』	1 冊	九州大学	研究のため
	『北平日記』 元号案原稿	2 件	九州大学	研究のため
	『北平日記』 『旅行日誌』 『支那旅行日誌』	3 件	九州大学	研究のため
	『小学句読集疏』 『改正小学序・小学集疏序』	計 12 冊	九州大学附属図書館	研究のため
竹 田 家 文 書	『親戚家族名簿（竹田家）高木磯太郎』 「宮本茂任書簡」	2 件	九州大学大学文書館	研究のため

	資料名	点数	利用者	使用目的
竹田家文書	『筑前国続風土記』	2冊	NHK 福岡	番組放映のため
	「忠広書状」	1点	熊本市	研究のため

令和7年度の資料調査の受け入れは10件。詳細は以下のとおり。

受入日	対象資料	調査者
令和7年 6月16日（月）	原口遺跡4次出土ガラス瓶	個人
令和7年 6月16日（月）	森園遺跡出土弥生土器	個人
令和7年 6月20日（金）	仲島遺跡出土人面墨書土器	大分県立埋蔵文化財センター
令和7年 7月2日（水） 7月8日（火）	中通遺跡群、塚原遺跡群、善一田遺跡4次出土玉類	九州歴史資料館
令和7年 7月3日（木）	牛頸窯跡群出土須恵器	山口県立萩美術館・浦上記念館
令和7年 10月18日（土）	雉子ヶ尾遺跡1・6次、古野遺跡1・6次、善一田遺跡5・7次、薬師の森遺跡4次出土石器	個人
令和7年 10月19日（日）	日ノ浦遺跡出土弥生土器	個人
令和7年 11月7日（金）	御陵古墳出土鏡	九州国立博物館
令和7年 11月14日（金）	大浦窯跡出土瓦	個人
令和8年 2月17日（火）	薬師の森遺跡7・8次、原口遺跡2次出土磁器・土師器	個人

8-3 資料の貸出

出土遺物

令和7年度に行った出土遺物貸出は3件。詳細は以下のとおり。

資料名	点数	貸出先	使用目的
牛頸須恵器窯跡出土須恵器	30点	九州歴史資料館	常設展出展
牛頸須恵器窯跡出土須恵器	23点	愛知県陶磁美術館 兵庫陶芸美術館	特別展出展
仲島遺跡出土人面墨書土器	3点	大分県立埋蔵文化財センター	企画展出展

歴史資料

令和7年度は歴史資料貸出依頼無し。

画像資料

令和7年度に行った画像資料貸出は17件。詳細は以下のとおり。

資料名	貸出先	点数	利用目的
水城跡（空撮）	実教出版株式会社	1点	『日本史探究 新訂版』（高等学校用検定教科書及びデジタル教科書）で利用のため
薬師の森遺跡 24次調査 SC01 全景	朝日新聞大阪本社	1点	新聞掲載のため
薬師の森遺跡 24次調査 SC01 カマド		1点	
薬師の森遺跡 24次調査 SC01 遺物		1点	
大野城跡（空撮）	株式会社ラップ	1点	FBS めんたいワイドのテレビ放送で利用のため
百間石垣		1点	
薬師の森遺跡 24次調査 SC01 遺物	株式会社共同通信社	1点	新聞掲載のため
本堂遺跡 7次調査出土木簡	株式会社八木書店出版部	1点	榎英一著『正税帳読解』にモノクロ図版及び電子書籍としても刊行のため

資料名	貸出先	点数	利用目的
梅頭窯跡	那珂川市文化財課	1 点	令和 7 年度日本遺産「西の都」連携事業大野城市コースチラシに使用のため
水城跡・大野城跡（空撮）	鹿児島県教育委員会 CBT 問題研究委員会	1 点	鹿児島県内の中学生を対象とした CBT 問題作成のため
善一田古墳公園	エフコープ生活協同組合	3 点	コーすけウオーキング参加者募集ホームページ掲載のため
水城跡（空撮）	株式会社ベネッセ コーポレーション	1 点	株式会社ベネッセコーポレーション発行の教材に掲載のため
薬師の森遺跡記者発表資料	株式会社ジャパン 通信情報センター	1 点	『文化財発掘情報』に記事掲載のため
薬師の森遺跡 24 次調査 SC01 遺物写真		1 点	
大池収蔵庫 IPM メンテナンス写真	株式会社タクト	1 点	第 111 回全国図書館大会愛媛大会資料保存分科会 講演会発表スライド資料に掲載のため
針箱	有限会社大悠社	1 点	『これってどう使う？ ふしぎな昔の道具たち（全 2 巻）』（株式会社 Gakken 刊）に掲載するため
衣桁		1 点	
善一田遺跡 4 次調査 25 号墳他出土鉄滓	福岡市博物館 市史編さん室	1 点	『新修 福岡市史ブックレット・シリーズ⑤弥生・古墳時代 金印と倭国の成立』（著者：宮本一夫、編集：福岡市史編集委員会、発行：福岡市）に掲載のため
善一田遺跡 4 次調査 26 号墳出土三累環頭把頭		1 点	
善一田遺跡 4 次調査 A 群南谷部出土新羅土器		1 点	
移動式竈	株式会社カル チャープロ	1 点	2026 年 2 月発売予定『今と昔がわかる 道具のうつりかわり図鑑』2 巻に掲載するため

資料名	貸出先	点数	利用目的
鏡池	株式会社テレビ朝日	1 点	16 日放送のスーパーJ チャンネル内大野城跡内鏡池の水位低下のニュースで使用するため
梅頭遺跡 1 次調査 1 号窯跡全景	福岡市博物館	1 点	特別展示室内解説パネル及び展覧会図録への掲載のため
人面墨書土器	株式会社 KANADEL	1 点	JTB パブリッシングより 2026 年 4 月 1 日発行予定の書籍に掲載するため

9 文化財調査・整備

9-1 文化財の調査

令和 7 年度の発掘調査は 6 地点で実施。詳細は以下のとおり。

調査名	所在地	期間	調査面積	調査成果等
森園遺跡 第 12 次調査	川久保 3 丁目	令和 7 年 4 月 7 日 ～ 令和 7 年 5 月 30 日	約 140 m ²	奈良時代の掘立柱建物と丘陵に直交する幅 3 m の平安時代の溝跡の他、弥生時代中期後半の土坑やピットを確認した。
天神田遺跡 第 3 次調査	下大利 4 丁目	令和 7 年 4 月 21 日 ～ 令和 7 年 6 月 9 日	約 93 m ²	井戸や溝跡、土坑、ピットなど、鎌倉時代を中心とする時期の集落遺構を確認した。
金山遺跡 第 5 次調査	大城 4 丁目	令和 7 年 5 月 7 日 ～ 令和 7 年 6 月 30 日	約 180 m ²	丘陵上に形成された古墳時代から古代にかけての土坑・ピットを確認した
宝松遺跡 第 7 次調査	山田 4 丁目	令和 7 年 6 月 19 日 ～ 令和 7 年 7 月 25 日	約 55 m ²	江戸期の土坑、ピットを確認した。土坑からは炭化物や日常雑器類が出土しており、廃棄土坑と考えられる。
野添遺跡 第 11 次調査	大字 上大利	令和 7 年 9 月 8 日 ～ 令和 8 年 1 月 21 日	約 7,000 m ²	7 世紀前半の須恵器窯跡 2 基（1・2 号窯跡）と 1 号窯跡に伴う灰原を確認した。1 号窯跡の最終操業面からはほぼ原位置を保った状態で杯などが出土した。
薬師の森 遺跡 第 44 次調査	乙金 3 丁目	令和 7 年 12 月 8 日 ～ 令和 8 年 3 月 19 日	1,064 m ²	6 世紀中ごろの竪穴建物や中世の溝跡、土坑、ピットを確認した。竪穴建物はカマド祭祀に伴う土製品等が出土したほか、火事で焼失したと考えられる住居を確認した。

令和 7 年度の文化財調査報告書は 8 冊を刊行。詳細は以下のとおり。

題名	
第 227 集 牛頸本堂遺跡群 11 上園遺跡 12	第 231 集 牛頸野添遺跡群 7
第 228 集 村下遺跡 10	第 232 集 御陵遺跡 2
第 229 集 宝松遺跡 4	第 233 集 汐井川遺跡 1
第 230 集 井相田 D 遺跡 1	第 234 集 後原遺跡 8

※発行日は全て令和 8 年 3 月 31 日。

令和 7 年度のその他調査・照会等

試掘調査件数	埋蔵文化財照会件数	遺物保存処理
58 件	1563 件	古野遺跡第 4 次調査出土金属製品（鉄鏃・刀子・耳環・鎌） 27 点

9-2 文化財の指定

令和 7 年度は、善一田古墳群出土資料の有形文化財指定について、大野城市文化財保護条例に基づき、大野城市長から大野城市文化財保護審議会に対し 12 月 25 日付で諮問が行われた。これを受けて、令和 8 年 3 月 3 日に行われた第 2 回文化財保護審議会で審議を行い、市指定有形文化財に指定するものとして 3 月 23 日付で大野城市文化財保護審議会会長から大野城市長へ答申が行われた。なお、指定年月日は令和 8 年 4 月 1 日であることから、善一田古墳群出土資料の内容等については令和 8 年度の年報に掲載する。

9-3 文化財の整備

令和 7 年度に行った史跡整備関連事業は以下のとおり。

事業	内容
水城跡保存整備事業	水城中央エリアにおいて土塁上の樹木の伐採、剪定を実施
牛頸須恵器窯跡保存整備事業	（仮称）小田浦史跡公園においてフェンス設置工事を実施



水城跡保存整備事業
水城跡の樹木伐採・剪定



牛頸須恵器窯跡保存整備事業
（仮称）小田浦史跡公園のフェンス

10 施設管理

10-1 I P M管理

心のふるさと館では館内の I P M管理について以下のとおり実施した。

取組項目	内容
温湿度管理	データロガーの設置による展示ケース等の温湿度情報の継続計測、毛髪温湿度計での一般収蔵庫内の温湿度情報の継続計測(令和8年2月～)
特別収蔵庫及び 展示ケース内の環境管理	定期的な温湿度計測及び害虫調査、パッシブインジケーターを使用したケース内の有機酸及びアンモニアの濃度計測、収蔵庫の定期的な清掃、特別展開催後の展示ケースの清掃。
燻蒸	・使用薬剤：えきたんくん 「地域文化財展 記録された日常－市内に伝わる江戸時代の記憶－」及び「戦争の記憶展－昭和20年筑紫郡大野村村長の日記－」展示資料、寄贈資料(ひな人形)等：令和7年10月11日(土)、10月13日(月)～10月29日(水)
保存環境調査	令和8年度秋季特別展に向けた国指定文化財の借用公開に係る保存環境調査を実施。
害虫トラップ調査等	館内72か所に害虫トラップを設置、毎月1回計測。その他、侵入した害虫等を捕獲・記録し、必要に応じて対応。ニューハクシミの捕獲により、東京文化財研究所から提供されたベイト剤館内20か所に設置(令和8年2月～)。令和8年度から館内に資料を持ち込む際は、専用のビニール袋に入れ、脱酸素材とともに密閉することを徹底することとした。
その他	職員及び展示業務に従事する委託者の室内履きの徹底、収蔵庫専用履物の設置、防塵マット・ドアブラシの設置、生花・動物・虫等の持ち込み制限(生花のみ、やむを得ない場合は袋等で包む対応)、2階及び3階の展示エリアでの飲食禁止等の徹底、収蔵エリア等の定期的な清掃を実施。

10-2 危機管理

自衛消防隊として非常時に迅速な初動と的確な活動を行うため、職員による火災を想定した総合避難訓練を実施。

実施日：令和7年10月27日（月）

訓練内容	
講義	・ 消防計画の目的と概要 ・ 火災のリスク要因と発生メカニズム ・ 火災警報・検知設備の構造 ・ 初期消火・対応技術 ・ 避難誘導と避難経路 ・ 火災対応時の役割分担 ・ 火災発生時の行動フロー
訓練内容	
消防設備の確認 （3階～1階）	・ 消火設備の位置確認 ・ 消火設備の誤作動とその解除方法 ・ 防火戸・防火シャッターの操作方法 ・ 消火栓の放水訓練（1階・授乳室前消火栓 ⇒ 駐車場前にて放水）
複合火災受信設備・非常放送設備の操作方法 （1階・事務室）	①複合火災受信設備 ・ 火災警報作動時の操作方法 ・ 作動中の消化設備の確認方法 ・ その他の設備の操作方法 ②非常放送設備 ・ 消防署への火災通報の手順 ・ 火災警報作動時 ・ 館内アナウンスにより、来館者への情報提供 ・ 動作中の消火設備の確認 ・ 誤作動による異常なしの場合の解除方法と館内アナウンス ・ その他の設備の操作方法

【訓練テーマ】

- ① 全職員が、心のふるさと館自衛消防隊の一員であることの自覚をもつ。
- ② 全職員が、消防設備の位置と操作方法を体得する。
- ③ 全職員が、火災発生時のそれぞれの役割を理解する。

11 統計

11-1 施設利用状況

(1) 令和7年度月別入館者数等

月	入館者		ふるさとラボ	クライミング		企画展・特別展	
	開館日数	入館者数	入場者数	開催日数	利用者数	開催日数	入場者数
4月	26	4,914	1,197	10	189	4	383
5月	27	5,959	1,319	12	265	27	1,886
6月	25	7,944	1,229	10	267	13	1,630
7月	27	11,329	3,746	12	345	15	7,123
8月	27	19,712	6,863	17	490	27	17,054
9月	25	11,176	3,879	10	337	6	3,739
10月	27	7,413	2,213	4	114	10	1,222
11月	26	9,508	1,443	11	312	26	3,882
12月	23	8,549	2,130	7	224	13	2,105
1月	23	4,919	894	9	296	13	868
2月	24	6,143	1,625	10	340	24	1,593
3月	26	5,182	1,298	9	155	13	913
合計	306	102,748	27,836	121	3,334	191	42,398

(2) 累計入館者数等

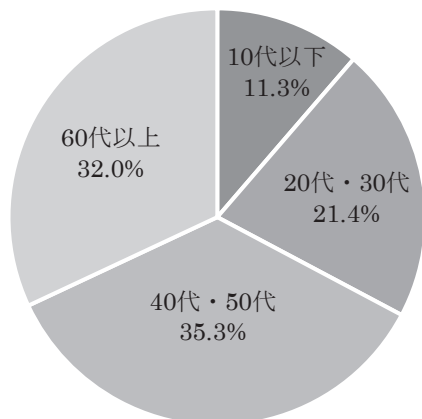
年度	来館者数		ふるさと ラボ	クライミング		企画展・特別展	
	開館日数	来館者数	入場者数	開催日数	利用者数	開催日数	入場者数
平成30年度	210	73,642	6,829	84	1,322	160	8,762
平成31年度	276	98,980	12,130	102	1,906	168	19,870
令和2年度	264	43,794	4,864	104	1,711	98	9,080
令和3年度	239	43,314	7,676	118	1,495	123	5,451
令和4年度	303	85,779	16,585	163	3,082	200	16,323
令和5年度	307	111,659	21,745	145	3,306	136	36,275
令和6年度	304	80,575	17,866	132	2,809	166	14,657
令和7年度	306	102,748	27,836	121	3,334	191	42,398
合計	2,209	640,491	115,701	969	18,965	1,242	152,816

※平成30年度は7月開館以降の数値。ふるさとラボ入場者数は平成30年8月以降の数値。

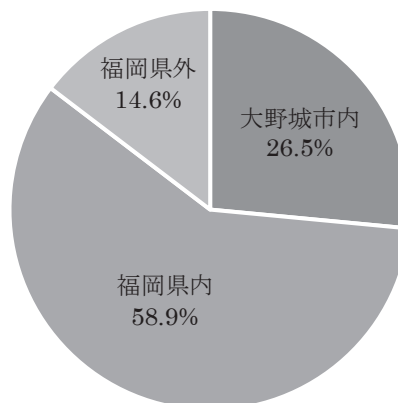
11-2 来館者アンケート

令和7年度アンケート結果は以下のとおり（未回答除く）。 回収件数：6,423 件

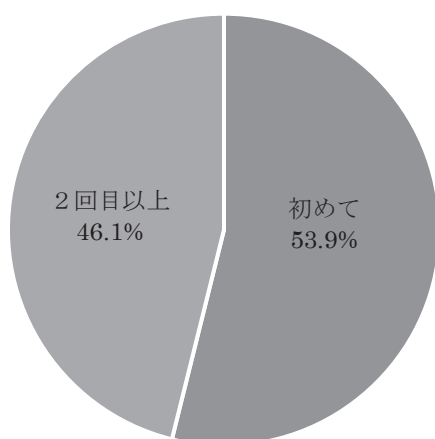
年齢



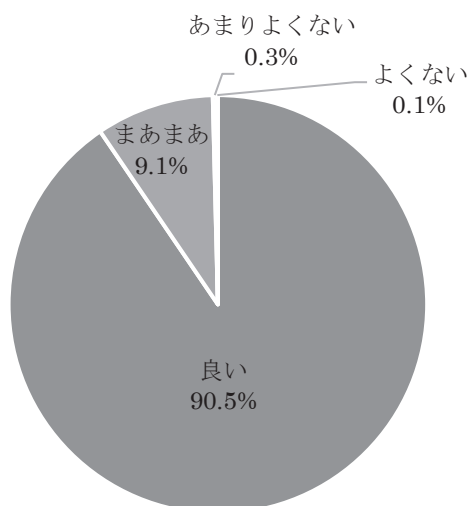
どこから来られましたか



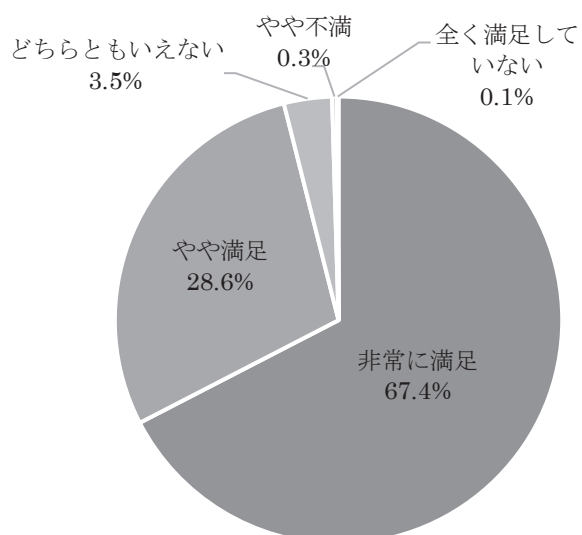
来館回数



スタッフの対応



施設に対する満足度



おおのじょうシティミュージアム年報 2025

(大野城心のふるさと館)

令和8年8月発行

編集・発行 おおのじょうシティミュージアム

〒816-0934 福岡県大野城市曙町3丁目8番3号

TEL : 092-558-5000 FAX : 092-558-2207

<https://www.onojo-occm.jp/>



ANNUAL REPORT
OF
Onojo Cocoro-no-furusato-kan City Museum
2025